

令和 5年度

社会福祉法人 清風会

特別養護老人ホーム 平寿園

事業経過報告書

## 《 介護サービス 》

- 1) **不適切ケアが生む悪循環の理解と把握に努め、職員の質の向上を目指す。**
  - ・グループ会議等の話し合いの場を持ち、不適切ケアの共通の基準を決める。
    - ◆グループ会議で改善点、確認項目を話し合いより良いケアを実施した。
    - ◆行動活発な利用者の状況把握と対応をグループ内で話し合う事ができた。
  - ・職員間において、スピーチロックや、威圧的な態度に関して話し合える環境作り。
    - ◆アンガーマネジメント、不適切ケアが生む悪循環のWebやグループ研修で得た事を活用し、大声や行動を制限する言葉かけを少なくする事ができた。
    - ◆上司や他の部署から言葉遣いの指摘があった時は、その都度置き換えの言葉を検討し気をつける事をグループ内に周知した。
  - ・行動の活発な利用者、大声を出す利用者等の行動の意味を考え、利用者の子持ちに寄り添った介護をする。
  - ・利用者に不安感を抱かせないように、ゆっくり落ち着いた行動、対応をする。
    - ◆せかさず慌てずを目標に、落ち着いた介護ができたと思う。
    - ◆少し慌ててしまう事もあったが、職員で協力しあいながら対応できた。
  - ・Web研修等をとおして知識を高め、介護職員としてのスキルアップにつなげる。
    - ◆毎月研修テーマに沿って学習する事ができ、思い返し考える事ができた。
    - ◆職員研修のテーマに沿って資料を収集しながら、認知症ケア(対応)を確認できた。
    - ◆Web研修に関しては各々で学習してもらったが、期限を過ぎてしまったり再度声掛けが必要な職員もいた。
- 2) **家庭的な雰囲気の中、笑顔で生き生きと生活できるような環境を作る。**
  - ・状況に合わせた余暇活動に取り組み、楽しみのある生活が送れるよう支援する。
  - ・外出支援や慰問等の受け入れ態勢を整え、気分転換を図る。
    - ◆休んでいる利用者が多く、余暇活動はあまりできなかったが、団子作り・ぜんざい作りで非日常的な時間を作り楽しんでもらった。
    - ◆利用者の状況に合わせた余暇活動を考えながら実施する事ができた。(折り紙・ぬり絵)
    - ◆リビング内を職員手作りの折り紙で飾り付けをして、季節を感じてもらった。
  - ・適切な対応の中での面会や電話による近況報告で家族とのつながりを支援する。
    - ◆コロナ感染症等で外出できない現実があり、家族への電話での状態報告はできていた。
    - ◆面会が増え、利用者の家族に近況報告することができた。
  - ・適切な言葉遣いと笑顔を引き出すような会話を心掛け、くつろぎ感のある環境を作る。
    - ◆言葉遣いは良くなってきたが、気づいた時には注意をして本人に反省を促した。
- 3) **BCP(事業継続計画)に基づいた体制づくり。**
  - ・感染発生時の初動対応と感染者に対して迅速かつ適切な対応をする。
  - ・マニュアルに沿った対応手順で素早く行動できる体制をとる。
    - ◆感染発生を予期し、感染防止の勉強会や保健衛生委員会を通して感染予防を学んだ。
    - ◆職員も週2回の抗原検査を実施、日頃より感染対策を行った事で5年度はコロナ感染もインフルエンザ感染もなく過ごせた。

- ◆短期利用者に関しては、入所時落ち着いている利用者の場合は居室対応・次の日の朝検査実施。行動活発な利用者の場合は、入所時に検査を行い感染予防に努めた。
- ・限られた職員で対応できることを検討し、代替え手段(人員・設備)での応急処置やシフト協力体制をつくる。
  - ◆職員が体調不良のときには、グループや他部署に応援をお願いしてシフトの協力体制ができた。
  - ◆職員皆が頑張っている中で、体調不良が言い出せず無理に出勤せざるおえない現実もあった。
- ・利用者に必要なサービスが安定的に継続提供される体制作り。
  - (備蓄品の確保・必要物品の日知已・IT等の活用)
  - ◆リフト・スライドシートポート等は良く使用していたが、インカムの利用がまだ十分でないので使いこなしていきたい。
  - ◆備蓄品・必要物品に関しては、グループだけではなく介護職員全体で取りまとめたりする必要があると感じた。
- @資格取得
  - 介護福祉士      介護支援専門員 (受験なし)

#### 【事故報告について】 65件

- ・転倒12件(夜間1件・受診2件 : 異常なし: 右大転子部骨折にて入院)
- ・座り込み5件(夜間3件・昼間受診1件: 左手首骨折、シーネ固定・三角巾使用)
- ・転落10件(1件病院連絡し医師の指示仰ぐ: 様子観察)
- ・皮膚剥離2件(1件回診)、ステリテープ、ガーゼ、コンネット等処置
- ・左肩骨折1件(受診し入院) 肝臓に近い部分骨折1件(受診: コルセット使用)
- ・誤薬1件(病院連絡し医師の指示仰ぐ)      ・その他33件

## 【 看護 】

### 1) 感染症対策に努める。

- ・近隣の感染症の流行に注意し予防に努める。
  - ◆短期入所時、入所者の熱発時は抗原検査を実施する事で予防対策をとることができた。
- ・外部からのウイルスの侵入を防ぐため、職員の健康管理を徹底する。
  - ◆抗原検査を週2回、体調不良時も検査や受診を勧めた事で健康管理に努める事ができた。
- ・基本的感染症対策を徹底する(マスク・フェイスシールド使用・手洗い・消毒・換気)。
  - ◆感染症対策を介護職員に周知し対応することができた。
- ・感染症が確認された場合、職員に対して統一した対応を行う。
  - ◆感染症発症はなかったが、会議や勉強会等でガウンテクニック等の指導を行った。

### 2) 利用者の健康管理に努める。

- ・健康状態の把握。
  - ◆介護職との連携により、日頃の利用者の体調の変化や皮膚の異常などを発見する事で早めに対応できた。

・健康診断。

- ◆医師との連携で、毎月の定期受診や、年1回の健康診断で異常時は早めの受診で対応することができた。

3) **機能訓練への取り組み。**

・拘束・褥瘡予防の為のポジショニングの伝達を行う。

・生活機能を維持し、改善を目的とした機能訓練が継続して行えるよう担当者会に参加し具体的な内容を共に検討していく。

- ◆拘縮が進んだ時のポジショニングを周知しや、週1回のリハビリ体操、介護職員による生活リハビリ、機能訓練指導員によるリハビリを実施することで生活機能を維持することができた。

## 【 調理・栄養士 】

1) **食事を通しての健康管理。**

・禁止食、嫌いな食材を把握し調理内容に工夫する。

- ◆朝の申し送り時に禁止食材等の確認をすることで、間違うことなく提供することができた。
- ◆肉・魚料理をシリコン型を使用し形取ったり、煮物で豚肉が嫌いだったら鶏肉を使用するなどして食べてもらえるように工夫し提供できた。

・一人ひとりに合った食事形態での食事の提供。

- ◆個々にあった食事形態に合わせて提供したことで残菜を減らせた。

・嗜好調査を生かし、好きな食材を提供する。

- ◆嗜好調査や聞き取りをすることで利用者の好きな献立を提供し食べてもらうことができた。

2) **美味しく、家庭的な雰囲気作り。**

・器を変えたり、彩りの工夫で食への楽しみをもってもらおう。

- ◆肉・魚料理で器を変えたり、行事食では2品盛りの小鉢を使用するなど見た目でも楽しんでもらうことができた。

・季節の食材を取り入れながら、季節感を味わってもらおう。

- ◆季節の食材を取り入れた献立は提供できたが、刻みやミキサー食の方にはわかりずらかったかもしれない。
- ◆行事食(バイキング)では、各自食べたいものを選んでもらうことで喜んでもらった。

3) **各部署と連携を図りながら、利用者個々の情報を得る。**

・利用者個々の食事摂取状況の把握。(摂取量、食べる姿勢、自助具等)

- ◆自助具等の変更で、数種類試すなど本人にあった自助具を提供することができた。
- ◆体調不良時や歯の不具合等での一時的な食事内容の変更も共有でき対応ができた。

・必要な補助食品検討。

- ◆各部署との連携で個々の状態に合わせた補助食品を提供することができた。

栄養ゼリー・ウイダーゼリー・OS1ゼリー・野菜ジュース等

## 【 事務管理 】

- ・利用者やご家族へは、おもてなしの心を持って接し信頼関係を築く。
- ・ご家族からの要望や問い合わせに答えられるよう、情報を収集し迅速に対応する。また、各部署とのコミュニケーションを図り、情報を共有し正確な発信を行う。
  - ◆面会制限が続く中、感染状況に合わせた窓越しや直接面会の説明と、面会時の援助が適切にできた。また、家族からの要望や連絡事項など円滑に対応することができた。
- ・購入物品においては、業者に定期的に相談し安く仕入れる方法を模索するなど情報取し、経費削減に努める。
  - ◆物品発注時は、相談しながら品質を落とさず低価格の物を購入するように努めた。
- ・介護報酬の仕組みや、改訂内容を理解し収入増に勤める。
  - ◆介護報酬収入の基となる単位数や、加算を取るための要件を確認することができた。

## 【 相談員 】

- ・感染症関連する動向や情報に注視するとともに、ご家族や外部との情報を共有し対応する。
  - ◆居宅ケアマネ、ご家族、職員からの情報を収集し、施設内にて情報を共有し感染予防に努めることができた。
- ・ご家族や地域との連携を図りながらふれあいの場を提供する。
  - ◆感染症関係にて、不安もありなかなかふれあいの場を提供することはできなかった。
  - ◆中学生の職場体験においては、2名の体験希望者がいたので2日間抗原検査を行い体験学習してもらった。
  - ◆毎月発行の園便りの内容に、利用者の写真を載せて活動内容を見て頂き園での様子を知ってもらう事が出来た。
- ・利用者、職員とのコミュニケーションを密にし、要望やニーズを汲みとり安心して相談できる環境づくりを行う。
  - ◆会話の場を多く持ち笑顔で会話しやすい雰囲気作りを行った。職員からの相談等では話の内容を傾聴し、できるだけ納得してもらえよう対応に心がけた。
- ・外部からの苦情・問い合わせに対しては情報を収集し、迅速かつ適切に対応する。
  - ◆苦情) 3件
    - 1)ご夫婦で入所されている息子様の面会にて
      - ・父親86歳 (車いす使用) ・母親86歳 (ベット上生活)
      - お袋が「親父がここの若い職員と籍を入れて、私が籍を抜かれて籍がない」と言うから役場に行ってみようかと思うが、始めて聞いたからどうなるとじゃろうか・・・との内容
      - @その場で介護職員にも確認するなどして、暫く話しをして落ち着いてもらった。
    - 2) S, S様(90歳) 左肩骨折にて入院 息子様より
      - 以前にも足を骨折したことがあり、2回目である。抗議といった意味ではなく話を聞きたいとの内容
      - @ ご心配をおかけして申し訳ない旨を伝え、事故報告書及び内出血の写真を見てもらい、看護から説明を行う
      - @息子様からも説明を聞き了解した。友人から聞いた話では、浴衣の帯の結び目で

あばら骨骨折の例もあるらしいからと話された。

3) デイサービス利用者様(男性)

昼食時「飯椀に飯をぬりつぶしているこんな飯は食えん」とデイサービス職員に言われた。

@その場に栄養士が行き状態を確認し謝罪する。小茶碗にご飯が多く入るため、茶碗の蓋で飯をおしたのが原因で、ぬりつけたわけではない事を説明する。

苦情・問い合わせの対処等の内容は相談記録に残した。

◆各部署間において、職員への聞き取りを行い今後の対応を確認した。

・職員によりよい就業環境を整える為、随時業務内容の改善を行う。

◆職員の急な休みにおいては、他部署等の協力もあり迅速に勤務に取り入れ調整する事ができた。

生活困窮者等に対する相談支援事業

「みやざき安心セーフネット事業」への取り組み

・村社会福祉協議会より連絡を受けて協議を行い、村社会福祉協議会と連携し1件の支援を行った。

・令和5年 8/8 ~ 10/3 男性

【 令和5年度 外部研修 】

期日	名称	会場	内容	出席者
4/21	紙おむつの適切な 使い方研修・展示会	延岡市	・効果的な紙おむつの選び方 ・リフトのスリングシート 他	副園長・幸子 恵子・勝弥
5/12	給食施設研修	平寿園 (オンライン)	・講義 給食施設における衛生管理について	那須ともみ
6/21	算定基礎届事 務講習会	日向市	・算定基礎届と賞与支払い届につ いて(記入要領等)	黒木由紀
7/ 3 ~ 4	喀痰吸引等実 地研修	平寿園	・喀痰吸引(口腔内・鼻腔内)手順と確認 ・胃ろうによる経管栄養の手順と確認	椎葉誠志 井手久美
7/ 6 ~ 7	喀痰吸引等実 地研修	平寿園	・喀痰吸引(口腔内・鼻腔内)手順と確認 ・胃ろうによる経管栄養の手順と確認	蟬尾りか 甲斐英樹
7/ 7	県北ブロック 施設長会	高鍋町	・提出議題討議 家族会について ・記念講演 「夢を持つ人 語る人」	黒木武人
7/13	障がい者総合支援 法に基づく集団指導	宮崎市	・制度説明 法令遵守の徹底について 他	甲斐桂子
7/21	AIS商談会 2023	宮崎市	・NDソフトウェア セミナー ケアカルテシステム説明 他	黒木武人 甲斐桂子
7/24	喀痰吸引等実 地研修	平寿園	・喀痰吸引(口腔内・鼻腔内)手順と確認 ・胃ろうによる経管栄養の手順と確認	蟬尾りか 椎葉誠志
7/25	喀痰吸引等実 地研修	平寿園	・喀痰吸引(口腔内・鼻腔内)手順と確認 ・胃ろうによる経管栄養の手順と確認	甲斐英樹 井手久美
8/ 3 ~ 4	喀痰吸引等実 地研修	平寿園	・口腔内、鼻腔内の喀痰吸引 ・胃ろうによる経管栄養 評価	甲斐英樹
8/ 4	介護福祉士養 成実務者研修	日向市	・講義 ケアマネジメント・介護の過程 他	甲斐励子
8/ 7 ~ 8	喀痰吸引等実 地研修	平寿園	・喀痰吸引、胃ろうによる経管栄養 評価	甲斐英樹
8/17 ~ 18	喀痰吸引等実 地研修	平寿園	・喀痰吸引、胃ろうによる経管栄養 評価	甲斐英樹

8/21 ~22	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・喀痰吸引、胃ろうによる経管栄養 評価	甲斐英樹
8/24 ~25	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・喀痰吸引(口腔内・鼻腔内)	甲斐英樹
8/25	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・講義 施設で暮らす高齢者の 介護過程 他	甲斐励子
8/28	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・喀痰吸引(鼻腔内)	甲斐英樹
9/5	社会福祉施設給食研究会	日向市	・講話「食事を通してご利用者様に 生きる喜びを」 他	那須ともみ
9/6 ~7	キャリアパス対応生涯研修	宮崎市	・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 他	椎葉千春
9/8	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・講義 利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開 他	甲斐励子
9/22	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・介護計画書作成 他	甲斐励子
9/29	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・個別介護マニュアル作成 他	甲斐励子
10/3 ~4	キャリアパス対応生涯研修	宮崎市	・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 他	甲斐隆志
10/3 ~5, 6	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内喀痰吸引 ・胃ろうによる経管栄養	井手久美
10/5	事業継続力強化計画策定支援セミナー	延岡市	・講義 「人材確保のための3つの改革」 「リスクの現実と特徴」 他	黒木武人
10/12 ~13	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内喀痰吸引 ・胃ろうによる経管栄養	井手久美
10/12 ~13	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管カニューレ) 経管栄養、心肺蘇生法 実技	甲斐励子
10/16 ~17	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内喀痰吸引 ・胃ろうによる経管栄養	井手久美



10 / 18	貯水槽水道衛生管理研究会	日向市	・水道事業の概要について ・貯水槽水道の衛生対策について 他	甲斐桂子
10 / 19 ~20	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・喀痰吸引(口腔内・鼻腔内)	井手久美
10 / 20	介護福祉士養成実務者研修	日向市	・小テスト	甲斐励子
10 / 23 ~24	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・喀痰吸引(口腔内・鼻腔内)	井手久美
10 / 23	社会法人理事・評議員研修	宮崎市	・講義「理事・評議員に求められる役割と責務」 他	黒木武人
10 / 26	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・喀痰吸引(鼻腔内)	井手久美
10 / 27	県北ブロック生活相談員研修	日向市 "	・講義「コロナ禍の施設の実態・最後まで任せられる施設に」 他	椎葉代美子
11 / 7	喀痰吸引等実地研修	平寿園 "	・口腔内喀痰吸引 胃ろうによる経管栄養 "	蟬尾りか
11 / 8	社会保険委員会年金委員研修	日向市 "	・年金給付の概要 他 "	黒木由紀
11 / 9 ~10	喀痰吸引等実地研修 "	平寿園 "	・口腔内喀痰吸引 胃ろうによる経管栄養 "	蟬尾りか
11 / 13 ~14	喀痰吸引等実地研修	平寿園 "	・口腔内喀痰吸引 胃ろうによる経管栄養 "	蟬尾りか
11 / 16 ~17	喀痰吸引等実地研修 "	平寿園 "	・口腔内喀痰吸引 胃ろうによる経管栄養 "	蟬尾りか
11 / 20 ~21	喀痰吸引等実地研修 "	平寿園 "	・口腔内喀痰吸引 胃ろうによる経管栄養 "	蟬尾りか
11 / 24	喀痰吸引等実地研修	平寿園	・口腔内・鼻腔内喀痰吸引 胃ろうによる経管栄養	蟬尾りか
11 / 24	県北ブロック施設長会	日向市	・提出議題討議 ・老サ協アプリについて 他	黒木武人

11/27 ~28	喀痰吸引等実 地研修 "	平寿園	・口腔内・鼻腔内喀痰吸引 ・胃ろうによる経管栄養	蟬尾りか
11/29	喀痰吸引等実 地研修	平寿園	・胃ろうによる経管栄養	蟬尾りか
12/ 1	通所介護部会意見 交換会・情報交換会 "	日向市	・提出議題討議	甲斐美千代
12/ 4	障がい者虐待防 止・権利擁護研修 "	宮崎市	・講義 「虐待が疑われる事案への対応」 「身体拘束適正化員会の運営」	谷川恵子
12/ 6	施設ケアマネ ージャー研修	宮崎市	・講義「適切なケアマネジメント手法 を用いた基本的の理解」	椎葉友子
12/19	在宅医療・介護多 職種連携共同に よる研修会	宮崎市	・講義「地域における多職種連携、看取 り、他所くぢゆ連携の実際について」	椎葉幸子
12/22	県北ブロック事 務長研修 "	高鍋町	・講義 提出議題討議	甲斐清美
1/18	県北ブロック栄養士 ・調理員合同研修	高鍋町	・講義 「満足度の上がる職場での考え方」	那須ともみ
1/20	論理に関する研修	日向市	・講義 個人ワーク・グループワーク	椎葉幸子
1/25	県北ブロック看 護職員研修	日向市	・講義 「もう一度振り返る施設で気 をつけたい感染症とその対策」	富士本美枝子
2/ 9	県北ブロック施設長会	延岡市	・議題討議 他	黒木武人
2/ 7	老人福祉施設サ ービス研究大会	宮崎市	・講演 ・分科会	甲斐桂子
2/23	薬の副作用と知って ほしい褥瘡の事	日向市	・講義 「ポリファーマシーについて」 他	椎葉幸子
2/29	福祉施設等給 食研究会研修	日向市	・講義 「給食施設の衛生管理」	那須ともみ

園内研修

期日	内 容	職員
4/26	デイサービス企画 「レクレーション(実技)」	園長 他28名
5/24	調理企画 「介護現場における正しい姿勢(食事・排泄)」	園長 他30名
6/26	看護企画 「拘縮ケア研修 ポジショニングの基本 座位保持調整の基本」	園長 他35名
7/27	事務所企画 「守秘義務について」	園長 他28名
8/24	そよかぜ企画 「アンガーマネジメントについて」	園長 他32名
9/26	ふるさと企画 「生活リハビリ研修(入浴・排泄・食事)」	園長 他33名
10/26	2階企画 「虐待・拘束について」	園長 他27名
11/27	デイサービス企画 「接遇・言葉遣い(社会人としてのマナー)」	園長 他27名
12/26	伝達研修 障害者虐待防止・権利擁護研修 他 看護企画 「応急手当とAEDの使い方」	園長 他33名
1/31	伝達研修 県北ブロック看護職員研修 他 事務所企画 「リスクマネジメント研修」	園長 他28名
2/26	2階グループ企画 「不適切介護について」	園長 他28名
3/26	ふるさと企画 「認知症及び認知症ケア」	園長 他24名

【 グループ研修(勉強会) 】

【介護】		
4/21	・オムツの適切な装着について	看護 介主 介護 計 12名
4/30	・オムツの装着について "	そよかぜ ふるさと 計 6名
6/21	・服薬介助について "	2階 計 5名
6/24	・車いす移動、移乗動作について "	そよかぜ ふるさと
	・入浴時のストレッチャー移乗の仕方 "	計 6名
7/12	・オムツ交換時の臀部洗浄の仕方 "	介主 介護
	・車いすへの移乗方法 "	計 5名
	・誤薬予防対策マニュアル実践 "	

8/17	・車いすにてのポジショニングについて ・車いすの移動操作について	" "	2階	計 7名
8/20	・除圧時の対応について	" "	そよかぜ	計 3名
9/26	・状態に合わせたポジショニングの仕方 ・介護用品の当て方	" "	ふるさと	計 4名
10/18	・小浴時のストレッチャーへの移乗の仕方 ・機械浴槽用ストレッチャーの充電器の再確認		そよかぜ ふるさと	計 5名
10/24	・虐待、拘束について		2階	計 6名
11/19	・リフト操作手順の注意点確認と操作		そよかぜ	計 3名
1/19	・口腔指導(義歯の装着、外し方)		歯科衛生士 看護 介護	計 4名
1/20	・口腔ケアの実践(義歯の装着、外し方)		そよかぜ	計 3名
1/21	・リフトの操作の仕方		ふるさと	計 3名
【調理】				
4/9	・アニサキス食中毒について		栄養士、調理員	計6名
6/11	・サルモネラ菌食中毒について			計5名
8/6	・黄色ブドウ球菌食中毒について			計4名
10/7	・カンピロバクター食中毒について			計7名
12/7	・腸管出血性大腸菌O157について			計8名
2/7	・セレウス食中毒について			計9名

企画委員会	期 日	内 容	出席者
	4/17	・5月行事予定について ・感染症対策について ・勤務体制、事業継続について 他	園長 副園長 相談員 各部署主 任 計 9名
	5/15	・6月行事予定について ・感染症対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主 任 計 9名
	6/15	・7月の行事予定について ・喀痰吸引研修について ・介護ロボット導入について 他	園長 副園長 相談員 各部署主 任 計 8名
	7/12	・8月行事予定について ・環境整備について 他	副園長 相談員 各部署主 任 計 8名
	8/17	・9月行事予定について ・事故対応の再確認について 他	園長 副園長 相談員 各部署主 任 計 9名
	9/14	・10月の行事予定について ・収入減少、経費増加対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主 任 計 8名

	10/16	・11月の行事予定について ・ストレスチェックについて 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	11/15	・12月の行事予定について ・業務の効率化について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	12/14	・1月行事予定について ・感染症対策について 他	園長 相談員 各部署主任 計 8名
	1/15	・2月の行事予定について ・地震(災害)対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	2/14	・3月の行事予定について ・外国人労働者雇用の検討について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 9名
	3/14	・4月の行事予定について ・感染症対策について 他	園長 副園長 相談員 各部署主任 計 8名
職員会議	期 日	内 容	出席者
	4/26	・5月行事予定について ・給与規程の改正について 他	園長 他28名
	5/24	・6月行事予定について ・感染症対策について 他	園長 他33名
	6/26	・7月行事予定について ・経費節約 喀痰吸引研修について 他	園長 他35名
	7/27	・8月行事予定について ・言葉遣い、名称について 他	園長 他28名
	8/24	・9月行事予定について ・感染症対策について 他	園長 他32名
	9/26	・10月行事予定について ・収入の仕組み等について 他	園長 他33名
	10/26	・11月行事予定について	園長 他28名

		・感染症対策について 他	
	11/27	・12月行事予定について ・火災予防 交通事故防止について 他	園長 他27名
	12/26	・1月行事予定について ・介護報酬動向について 他	園長 他33名
	1/31	・2月の行事予定について ・災害(地震)対策について 他	園長 他28名
	2/26	・3月の行事予定について ・業務の見直し、効率改善について	園長 他28名
	3/26	・4月行事予定について ・通所介護(県指定)廃止について 他	園長 他24名
リーダー会議	10/8	・夜勤業務改善について ・面会について 他	相談員 他4名
	2/2	・夜勤分担について ・年間目標について 他	介護主任 他3名

食中毒対策委員会	4/26	・アニサキス食中毒について	副園長 他10名
	6/26	・サルモネラ菌食中毒について	副園長 他 9名
	8/24	・黄色ブドウ球菌食中毒について	副園長 他 9名
	10/26	・カンピロバクター菌食中毒について	副園長 他 9名
	12/26	・出血性大腸菌O157食中毒について	副園長 他10名
	2/26	・セレウス菌食中毒について	副園長 他 8名
感染症対策委員会	5/24	・白癬について	副園長 他10名
	7/27	・間違っているかも！次亜塩素酸ナトリウムの使い方	副園長 他 9名
	9/26	・感染症について	副園長 他 9名
	11/27	・モラクセラ菌について	副園長 他 8名

	1/31	・感染性胃腸炎について		副園長 他 9名
	3/26	・多剤耐性菌について		副園長 他 7名
保健衛生委員会	8/24	・ガウンテクニックについて		看護 介護17名
	12/26	・AED取り扱い方について		看護 介護 調理 事務 デイ 33名
	2/26	・口腔ケアについて		看護 介護13名
事故防止対策委員会	4/17	・事故報告についての対策検討	事故3件	園長 他 8名
	5/15	・事故報告についての対策検討	事故2件	園長 他 8名
	6/15	・事故報告についての対策検討	事故6件	園長 他 8名
	7/12	・事故報告についての対策検討	事故6件	副園長 他 7名
	8/17	・事故報告についての対策検討	事故8件	園長 他 8名
	9/14	・事故報告についての対策検討	事故6件	園長 他 8名
	10/16	・事故報告についての対策検討	事故4件	園長 他 8名
	11/15	・事故報告についての対策検討	事故13件	園長 他 8名
	12/14	・事故報告についての対策検討	事故4件	園長 他 7名
	1/15	・事故報告についての対策検討	事故6件	園長 他 8名
	2/14	・事故報告についての対策検討	事故2件	園長 他 8名
	3/14	・事故報告についての対策検討	事故2件	園長 他 7名
身体拘束適正化委員会	6/28	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)		園長 他 7名
	10/20	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)		園長 他 8名
	12/26	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)		園長 他 8名
	3/26	・身体拘束につながる可能性について(現在の状況)		園長 他 6名
身体拘束に関する職員研修	12/26	・身体拘束について		園長 他33名
	2/26	・不適切介護について		園長 他28名
身体拘束に関する新	8/121	・メディアパス動画視聴 身体拘束の種類 3原則と運用方法	他	副園長 他8名

人研修			
褥瘡対策委員会			
看護検討会	4/3	・感染症対策委員会について ・保健衛生委員会について 他	(施)看護師3名

【入居者サービス担当者会】

期日	参加者(名)	期日	参加者(名)
4/12	4	10/10	5
4/20	6	10/19	5
4/26	5	10/23	4
5/10	6	11/9	6
5/18	5	11/16	5
5/22	6	11/20	6
6/12	5	12/11	4
6/19	5	12/18	6
6/23	5	12/22	5
7/12	4	1/15	6
7/19	5	1/17	6
7/26	5	1/22	7
8/10	5	2/9	6
8/17	5	2/19	5
8/21	6	2/21	4
9/15	5	3/8	6
9/21	5	3/12	5
9/28	6	3/15	4

令和5年度

【実習受け入れ】

月 日	内 容	人数
6月29～30日	椎葉中学校2学年 職場体験	2名(男女)



令和5年度 事業経過報告  
行事・催し等 (園全体)

月 日	名称	内 容	備考
6 / 4	おやつ作り (そよかぜ・ふるさと)	・豆腐、だんご粉を使用し団子を作る(きな粉・黒蜜をかける)	利用者 32名 職員 6名
6 / 6	ドライブ ( 2階 )	・10時出発→尾前→14時半帰園(家族と茶話会・記念撮影)	利用者 3名 職員 3名
7 / 16	夏野菜を利用した油味噌作り (そよかぜ・ふるさと)	・収穫した野菜(茄子・ピーマン)を見てもらい調理後、昼食時に提供	利用者 21名 職員 7名
8 / 16	納涼食事会 (そよかぜ・ふるさと)	・茹でたソーメンを器に入れトッピングし昼食時に提供	利用者 20名 職員 8名
9 / 9	秋の茶話会 (そよかぜ・ふるさと)	・フルーチェの元に牛乳を入れて混ぜる工程を見てもらい、利用者にフルーツをトッピングしてもらい提供	利用者 35名 職員 6名
10 / 14	合同秋の運動会 (そよかぜ・ふるさと)	・赤団、白団に分かれ競技する 歩行器・車いす競争 輪投げ・玉入れ	利用者 34名 職員 7名
12 / 13	誕生会・クリスマス会 ( 2階 )	・ジュース、お菓子を提供 ・ビンゴゲームをしプレゼントを渡す	利用者 25名 職員 5名
12 / 17	お楽しみ会 (そよかぜ・ふるさと)	・団子入りぜんざいを作り提供	利用者 30名 職員 6名
12 / 23	クリスマス会 (そよかぜ・ふるさと)	・おやつバイキング ・カラオケ	利用者 26名 職員 6名
2 / 3	節分豆まき (そよかぜ・ふるさと) (2階)	・面をつけた職員にチョコレート・マシュマロを投げもらう	職員6名 利用者20名 職員4名 利用者 18名

ボランティア

月 日	団 体 名	目的・内容
	、 *コロナ感染関係にて受け入れなし	

令和5年度 防災訓練

期 日	名称	内容	参加者
4 / 5	消火器・消火栓 操作訓練	* クンレンダー(訓練用消火器)を使用した放水訓練・消火栓の手順確認と操作方法	職員 11名
5 / 10	夜間を想定した 避難訓練	* 洗濯場より出火したとの想定で訓練実施	職員 15名 利用者69名
5 / 30	緊急時非常通報 連絡(1回目)	* 携帯LINEでの連絡 LINEに入っていない職員には部署内での連絡	職員 60名
6 / 7	夜間を想定した 避難訓練	* 洗濯場より出火したとの想定で訓練実施	職員 17名 利用者57名
7 / 5	夜間を想定した 避難訓練	* デイサービスより出火したとの想定で訓練実施	職員 16名 利用者56名
8 / 9	消火器・消火栓 操作訓練	* クンレンダー(訓練用消火器)を使用した放水訓練・消火栓の手順確認と操作方法	職員 9名
9 / 20	昼間を想定した 避難訓練	* 洗濯場より出火したとの想定で訓練実施	職員 19名 利用者61名
10 / 4	地震対策訓練	* 落下物・環境面の点検 避難経路確認	職員 10名
11 / 14	総合防災避難 訓練(夜間想定)	* 厨房より出火したとの想定で訓練実施	職員 19名 利用者63名 消防団員8名
12 / 6	消火器・消火栓 操作訓練	* クンレンダー(訓練用消火器)を使用した放水訓練・消火栓の手順確認と操作方法	職員 13名
1 / 17	夜間を想定した 初期対応訓練	* 洗濯場より出火したとの想定で初期活動の動きの確認	職員 14名
2 / 7	昼間を想定した 避難訓練	* 厨房より出火したとの想定で訓練実施	職員 19名 利用者54名
3 / 13	夜間を想定した 避難訓練	* 洗濯場より出火したとの想定で訓練実施	職員 19名 利用者63名

## 令和5年度 利用者状況

### 【入退所状況】

#### 退所者

退所年月日	性別	年齢	備考
R5 4/7	男	94	死亡
4/17	男	90	死亡
4/17	男	94	死亡
4/21	女	98	死亡
6/21	女	99	死亡
7/21	男	93	死亡
8/16	女	93	死亡
8/30	男	94	死亡
9/4	男	88	死亡
10/12	女	90	死亡
12/4	男	95	死亡
12/25	男	75	死亡
R6 2/1	男	96	死亡
2/26	女	98	死亡
3/2	女	96	死亡
3/3	男	96	死亡
3/5	女	90	死亡
3/12	女	91	死亡
3/23	女	94	死亡

#### 入所者

入所年月日	性別	備考
R5 4/8	男	在宅より
4/20	女	在宅より
4/27	男	他施設より
5/15	男	在宅より
7/4	女	他施設より
7/26	男	在宅より
8/18	男	在宅より
9/8	女	在宅より
9/8	女	在宅より
9/29	男	在宅より
10/5	女	在宅より
10/16	女	在宅より
10/23	女	在宅より
10/27	男	在宅より
10/30	女	他施設より
12/27	女	在宅より
R6 1/18	男	在宅より
1/24	女	他施設より
2/2	男	在宅より
2/8	男	在宅より
3/3	女	在宅より
3/6	女	在宅より

### 【性別年齢構成表】

令和6年 3月31日現在

年齢（歳）	80未満	80以上～ 90未満	90以上～ 100未満	100以上	合計
男性	4	9	12	1	26
女性	1	7	23	0	31
合計	5	16	35	1	57

### 【平均年齢】

男性	87, 8歳
女性	90, 9歳
全体	89, 5歳

### 【要介護度別構成表】

令和6年 3月31日現在

要介護度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男性	0	0	2	6	11	7	26
女性	0	0	0	3	22	6	31
計	0	0	2	9	33	13	57

（ 平均要介護度 3, 9 ）

【性別在所期間】

性別	在所期間	1年～	3年～	5年～	10年以上	計
	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満		
男性	8	11	3	4	0	26
女性	11	12	3	3	2	31
合計	19	23	6	7	2	57

令和5年度入所実績

R5・4・1～R6・3・31

月	事業別のべ入所者数				
	施設入所 (60)	短期入所	予防短期	障がい短期	短期宿泊
		(16)			
4月	1550	198	9	0	0
5月	1597	203	3	0	0
6月	1511	207	7	0	0
7月	1590	262	11	0	0
8月	1628	240	10	0	0
9月	1604	217	0	0	0
10月	1733	179	16	3	0
11月	1746	183	12	0	0
12月	1701	181	12	0	0
1月	1686	214	10	3	0
2月	1576	212	9	0	0
3月	1629	271	11	0	0
計	19551	2567	110	6	0
平均利用者数	53.4人/日	平均利用者数 7.0人/日			
年間稼働率	89%	年間稼働率 46%			

## 令和5年度 デイサービスセンター事業報告

要介護者や障害のある方達の閉じこもりを防止し、住み慣れた地域で安心・安全に生活が送れるように支援する

### 1、 感染症予防対策に努める。

- ・ 感染防止の為、マスク着用・手洗い・消毒等の基本対策を継続していく。
- ・ 乗車前の検温・マスク着用の促しを行う。
- ・ 利用者、ご家族を含めた体調の確認を行う。
  - ◆ ご家族を含めた体調確認は、家族の協力で確実にできた。
  - ◆ 手洗いや、消毒はこまめにできているが、マスクを忘れてくる利用者がいた。
- ・ 送迎車輛、デイルーム内のこまめな換気を行う。
- ・ デイルーム到着時の手指の消毒の実施。
- ・ 手すり、ドアノブ、介護用品等のこまめな消毒の実施。
  - ◆ 定時での換気、担当を決めての消毒等を確実に行うことができた。

### 2、 介護事故防止への取り組み。

- ・ 利用者一人一人の状態確認(サマリー、本人の状態確認)。
- ・ リスク軽減の為、個々にあった補助具の検討、準備(歩行器、車いす等)。
  - ◆ 担当ケアマネからのサマリー確認と家族、本人からの聞き取りにて状況等一致しないこともあった為、その都度担当に報告した。
- ・ 担当者会等で情報を共有し、全員で統一した支援を行う。
- ・ 自宅の環境や生活の場に合わせた支援を心がけ、過剰な支援は行わない。
  - ◆ 会議等での情報は職員全員で共有し統一した支援ができた。
  - ◆ 本人の状態や環境についての情報も確認し過剰な支援は行わないようにした。

### 3、 利用者・ご家族との連携を深める。

- ・ 敬意を持った言葉遣いや、笑顔での挨拶を心がける。
  - ◆ 送迎時等笑顔や言葉遣いに注意しながら挨拶することを心がけた。
- ・ 家族からの申し送り事項は、他の職員にも伝え統一した支援を行う。
  - ◆ 家族からの申し送り事項は、すぐに職員に伝え統一した支援ができた。
- ・ 医療ケアが必要な場合は、専門医の受診を勧め、ケアマネージャーや医療機関と連携しながら支援する。
  - ◆ 医療ケアが必要な状況が確認された場合は、家族・担当ケアマネに報告することで連携した対応ができた。

【通所要介護度別利用実績】

令和5年4月～令和6年3月

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護度													
要支援1	20	21	17	6	5	10	11	9	10	9	7	11	136
要支援2	42	51	47	47	30	44	50	35	43	42	55	47	533
	62	72	64	53	35	54	61	44	53	51	62	58	669

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護度													
要介護1	17	27	21	22	16	25	27	23	24	19	23	23	267
2	45	50	49	39	34	42	35	31	20	27	37	36	455
3	24	33	33	32	25	27	23	23	22	8	9	7	266
4	18	22	19	20	20	20	22	24	23	20	25	26	259
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	104	132	122	113	95	114	107	101	89	74	94	92	1247

通所介護年間稼働日 249日

予防通所介護一日平均利用者数 2.7人

通所介護 一日平均利用者数 5.0人

要支援 1	0.5人
要支援 2	2.1人
要介護 1	1.1人
2	1.8人
3	1.1人
4	1.0人
5	0人

【いきがい活動支援通所事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
のべ利用者数	58	60	58	49	39	45	57	51	49	46	54	51	617

(登録者) 38人

(1日平均利用者)

2.3人

【障害者デイサービス事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
のべ利用者	4	4	3	4	1	5	6	4	4	6	4	4	49

(登録者) 2人

(1日平均利用者)

0.2人

## 令和4年度 平寿園居宅介護支援事業 事業報告

### 実績について

- ・新規の受け入れも積極的に行ったが、特養への入所者や、亡くなる利用者も多く結果として前年度に比べると支援者の人数は減少した。
- ・ケアマネー人体制になり、担当できる人数に制限はあるが可能な限り受け持った。

### 居宅介護支援について

- ・居宅介護支援は独居、生活保護等の困難事例があった。地域外への有料ホームへの入所調整はなかった。
- ・予防支援や総合事業の業務は順調に計画や支援等ができた。
- ・個別ケア会議への事例提出も要請に従って提出、検討する事ができた。
- ・地域ケア会議、情報交換会議へも毎回出席する事ができた。
- ・提供表、プランの交付が遅れることがあった。

### その他

- ・必要に合わせて短期入所送迎を行った。

### 【居宅支援事業 令和5年度実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護1	5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	7	7	74
介護2	10	8	7	5	6	6	5	6	5	8	9	10	85
介護3	8	9	11	12	11	11	10	10	11	10	6	5	114
介護4	6	6	5	5	6	6	5	4	4	6	6	7	66
介護5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
要介護合計	30	28	28	27	29	29	27	27	27	31	29	30	342
予防 件数	22	21	21	23	22	21	21	20	20	19	19	18	247
件数合計	52	49	49	50	51	50	48	47	47	50	48	48	589

施設に割り当てられた研修一覧

特別養護老人ホーム平寿園

受講開始月	研修	受講期間	職員グループ
4月	接遇	2023年4月1日～2023年4月30日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
5月	メンタルヘルス	2023年5月1日～2023年5月31日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
6月	リスクマネジメント	2023年6月1日～2023年6月30日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
7月	健康管理	2023年7月1日～2023年7月31日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
8月	プライバシー	2023年8月1日～2023年8月31日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
9月	チームワーク	2023年9月1日～2023年9月30日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
10月	ターミナルケア	2023年10月1日～2023年10月31日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
11月	服薬管理	2023年11月1日～2023年11月30日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
12月	リハビリテーション	2023年12月1日～2023年12月31日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
1月	褥瘡	2024年1月1日～2024年1月	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者



受講 開始月	研修	受講期間	職員グループ
		31日	
2月	感染症	2024年2月1 日～2024年2月 29日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者
3月	QOL	2024年3月1 日～2024年3月 31日	介護リーダー, 総務, 介護中堅, 介護新人, 看護師, ケアマネージャー, 調理, 管理者